



平成 28 年 5 月 7 日、日南町霞地区にあるにちなん保育園の裏山に「ツリーハウス」が完成し、オープニングセレモニーが行われました。建築を専攻とする米子高専の学生が、子供たちが遊びやすいようにと原案を作成し、設計されたものです。さっそく、園児たちが利用を始めています。

いま、こどもの自然体験の重要性をよく耳にするようになりました。教育問題を研究しているある大学の教授は、多くの自然体験活動をしたこども程、体力に自信があり、得意な教科が多く、環境問題に関心があり、課題解決能力や豊かな人間性など「生きる力」を持っているとの研究を発表しています。数字ではみた事がなくても、経験的には成程と納得させられる話だと思います。

このツリーハウスは、子供たちが心身ともに健やかに育つように、郷土を大切に思う気持ちを育むようにと、「平成 27 年度日南町こどもゆめ基金子どもの森事業」により日南町産・鳥取県産の木材を使用して建設されたものです。地域の自然を活かした野外保育を実施する事を目的としています。イチイ荘脇の道路沿いにあり、園児以外のお子様の利用も可能なところにあります。

自然の中でのびのびと生活する、当地では当たり前の事が、都市の人にはなかなか実現しない事であったりもします。中山間地で生活する事でしか得られないもの、素晴らしい事を伝えていけば、日南町で生活してみようか、久しぶりに戻ろうか、そんな方も増えてくるのではと思います。